

# 知っておきたい がん医療

# 最前線

静岡がんセンター公開講座 2021「知っておきたいがん医療最前線」(静岡新聞社・静岡放送主催、県立静岡がんセンター、三島市、長泉町、裾野市、函南町、清水町、三島市民文化会館共催、スルガ銀行特別協賛)の第5回配信(事前登録制)がこのほど行われました。第5回は県立静岡がんセンター副院長・泌尿器科部長の庭川要氏が「前立腺がんの最新治療」、同センター血液・幹細胞移植科部長の池田宇次氏が「造血器悪性腫瘍～最新治療の概要～」と題し、それぞれの講演をネット配信しました。その概要をまとめました。

(企画・制作/静岡新聞社地域ビジネス推進局)

主催/静岡新聞社・静岡放送 共催/県立静岡がんセンター、三島市、長泉町、裾野市、函南町、清水町、三島市民文化会館 特別協賛/スルガ銀行

## 造血器悪性腫瘍～最新治療の概要～

血液は一体どこで生まれるのでしょうか。実は骨の中のスポンジ状の組織「骨髄」なのです。生まれた赤ちゃん細胞は造血幹細胞と言います。リンパ系や骨髄液の前駆細胞となり、白血球、赤血球、血小板に成長します。成長過程で細胞が不良になったものが血液のがん「造血器腫瘍」です。

### 血液のがんは全体の6%

代表的な造血器腫瘍は白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫です。悪性リンパ腫は骨髄の外で発症することが多いですが、それ以外には骨髄が病気の主座です。血液のがんは2018年の推計で全がんの約6%を占め、珍しいものではありません。発熱、貧血、出血や骨痛などの症状では白血球や骨髄異形成

症候群を疑います。首やわきの下のリンパ節が腫れたり、発熱があると悪性リンパ腫を疑います。多発性骨髄腫では貧血や骨痛に加え、腎不全などが現れることがあります。血液がんが疑われるとPET、CT、MRIなどの画像検査や骨髄穿刺(せんし)、骨に針を刺して骨髄を少量取る検査)などを行います。これらの検体から、がん細胞の表面に出ている抗原や、遺伝子の異常を突き止めることで詳細な診断を行います。また、これらの抗原や遺伝子異常が特定することで、その抗原をターゲットにした抗体薬や、遺伝子異常をターゲットにした分子標的治療薬を用いた治療ができることもあります。

抗がん剤治療が主体  
血液のがんは体中に流れている細胞のため、抗がん剤治療が主体です。今では血液がんの5年生存率は向上しています。悪性リンパ腫は6割、急性白血病も3〜4割の方が治る時代です。また初回の化学療法後に再発しても、別の薬剤で再度治療を行って治療を得られる可能性もあります。

骨髄移植は2種類  
造血器悪性腫瘍は骨髄中の血液を抗がん剤治療で根絶やしにして、そこに新しい幹細胞を戻して血液を作らせます。治療前に採取して冷凍した自分の幹細胞を使う自家移植と、他人から幹細胞をもらう同種移植があります。自家移植は通常の化学療法よりも大量の抗がん剤を用いた治療を行えることが利点ですが、抗腫瘍効果がありません。一方で同種移植では他人の幹細胞を用いるため、特別な免疫反応が起こります。

一部を採取する、前立腺生検が必要で、前立腺がんの診断が確定したから、がんの広がりを調べる病期診断を行います。通常CTやMRI、骨シンチグラムの画像診断が用いられます。このことで前立腺がんの大きさや転移の有無を明らかにします。

転移のない前立腺がんの治療  
転移のない前立腺がんの治療は薬物療法、手術、放射線療法が用いられます。薬物療法でまず行われるのは、ホルモン療法です。男性ホルモンを遮断するがんの縮小が得られます。有害事象としてはインポテンツ、更年期障害、肝機能障害、乳房痛などがあります。転移のない前立腺がんの場合は、通常数年間有効ですが、将来的には、いつかはホルモン抵抗性となり、

転移のある場合  
転移のある前立腺がんの治療は薬物療法になります。まずはホルモン療法を実施しますが、転移のない前立腺がんに比べて奏功期間が短い傾向にあります。ホルモン療法無効時は、新規ホルモン剤が抗がん剤で治療を行います。最近では新規のホルモン剤として、さまざまな薬が開発、保険承認され、選択肢も

従来のがんの治療は、臓器によって薬を選択していました。最近のがんは遺伝子の異常で薬を選ぶ方法が出てきています。2020年12月に、前立腺がん患者さんのBRCA遺伝子の異常を調べる検査が保険で認められました。BRCA遺伝子の異常がある場合は、オラパリブという薬で治療することができま



県立静岡がんセンター  
血液・幹細胞移植科部長

池田 宇次 氏

1994年香川医科大学(現香川大学医学部)卒業。98年同大学院修了。防衛医科大学血液内科、米ハーバード大学ダナ・ファーバー研究所を経て、2007年6月より現職。化学療法および造血幹細胞移植を専門とする。日本血液学会指導医・代議員、造血細胞移植学会認定医・評議員、臨床腫瘍学会協議員、指導医審査部委員、内科学会総合内科専門医。

## 前立腺がんの最新治療

前立腺は膀胱(ぼうこう)のすぐ下、尿道を取り囲むように存在する、男性固有のくるみ大の臓器です。前立腺液を分泌し、射精時に組織全体が収縮する働きがあります。前立腺液は精子と合流して精液となり、精子の運動性を高める作用があります。

転移のない前立腺がんの治療  
転移のない前立腺がんの治療は薬物療法、手術、放射線療法が用いられます。薬物療法でまず行われるのは、ホルモン療法です。男性ホルモンを遮断するがんの縮小が得られます。有害事象としてはインポテンツ、更年期障害、肝機能障害、乳房痛などがあります。転移のない前立腺がんの場合は、通常数年間有効ですが、将来的には、いつかはホルモン抵抗性となり、

他の治療を考慮する必要があります。起立時など腹圧が掛かったときに尿が漏れることで、いわゆる「ちびる」尿失禁が10〜20%起こります。またインポテンツになるリスクもあります。当院では前立腺がんの手術は全口ポット支援手術で実施しています。傷口が小さく、術後の疼痛(とうつう)が軽微です。いずれにしても生命予後は良好なので、ご本人のライフスタイルに合った治療が、最も望ましいと言えます。また、前立腺がんは進行が遅く、寿命を左右しないことも少なくありません。ご高齢で、がんが比較的小さく、おとなしい場合は、体に負担がかかる積極的治療をせず、無治療経過観察が適切な場合もあります。

増えてきました。従来のがんの治療は、臓器によって薬を選択していました。最近のがんは遺伝子の異常で薬を選ぶ方法が出てきています。2020年12月に、前立腺がん患者さんのBRCA遺伝子の異常を調べる検査が保険で認められました。BRCA遺伝子の異常がある場合は、オラパリブという薬で治療することができま

### 転移のない前立腺がんの治療

### 転移のある場合

### 骨髄移植は2種類

### 遺伝子の異常で薬選択

### 【事前登録申し込み方法】

問い合わせ: TEL 055(962)6520

- ①郵便番号・住所②氏名③生年月日(西暦)④年齢⑤性別⑥職業(学校名)⑦電話番号⑧FAX番号⑨メールアドレス⑩視聴方法(パソコン、スマホなど)を明記し、下記の静岡新聞社・静岡放送 東部総局にお申し込みください。1回だけの受講も可。

<はがき> 〒410-8560 (住所不要)

静岡新聞社・静岡放送 東部総局「静岡がんセンター公開講座」係

<FAX> 055-962-6752 <メール> toubugyoumu@shizuokaonline.com

※FAXとEメールは件名に「静岡がんセンター公開講座」と記してください。

次回は1月29日(土)にライブ配信予定です。 ※受講料無料